

第5章 施設の構成に関する検討

1 施設の概要

子育て支援総合拠点に必要な機能を踏まえ、施設の概要は以下のとおりとする。子育て支援総合拠点スペースの床面積は約 1,000m² となる。

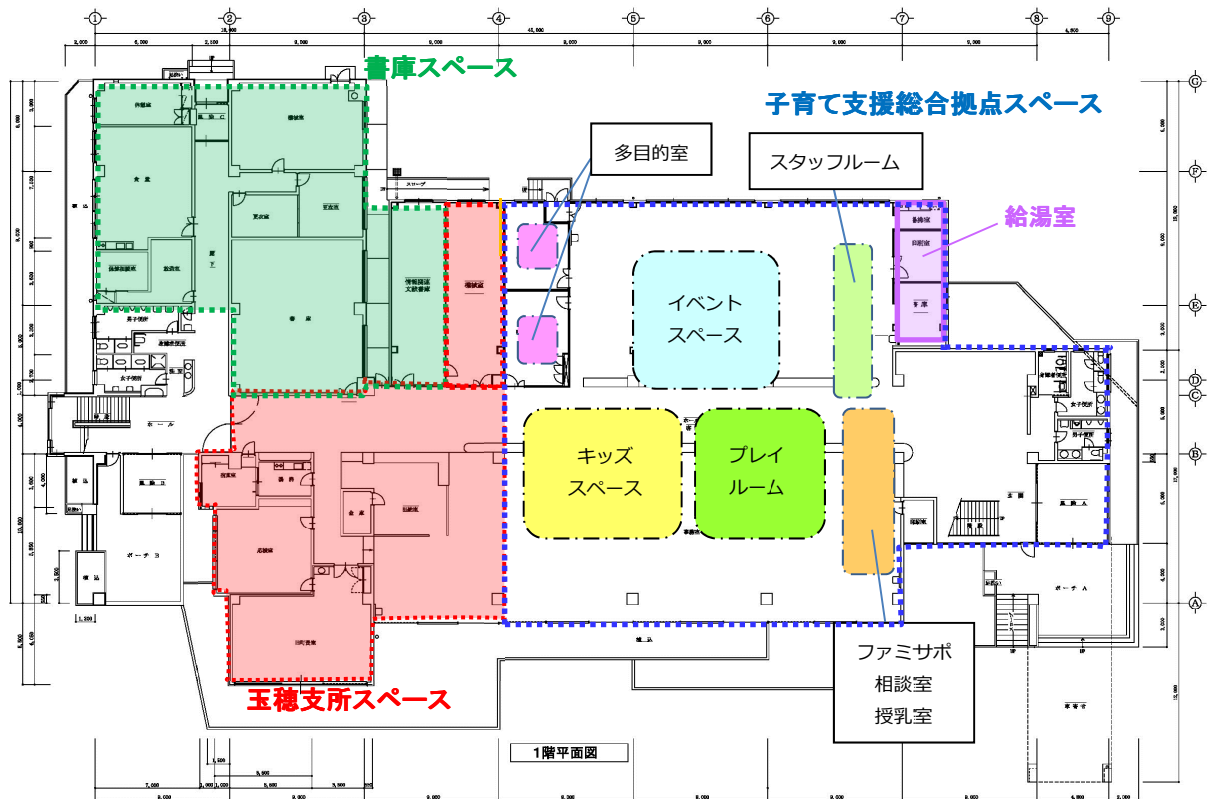


図 3 ゾーニング案 (1階)

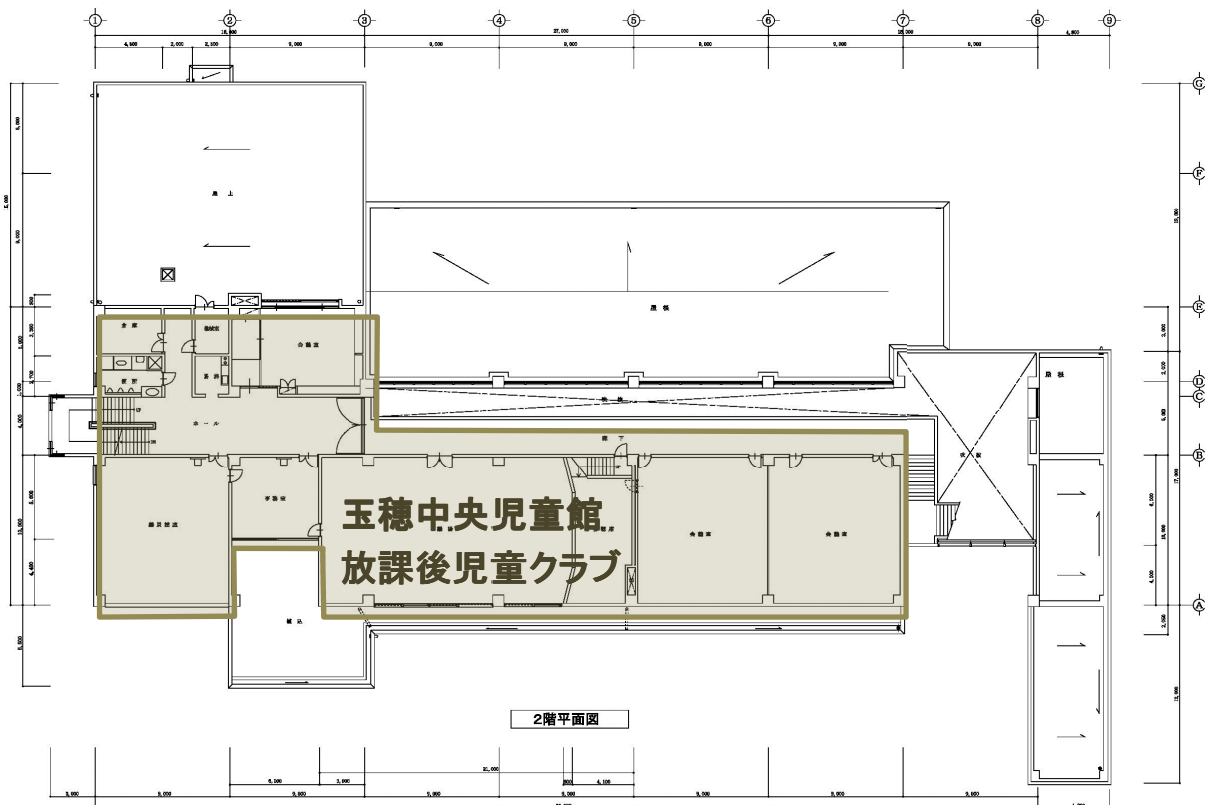


図 4 ゾーニング案 (2階)

2 各機能の具体内容

(1) プレイルーム

3歳児までの子どもとその保護者が備付けの遊具や玩具で自由に遊んだり、絵本を読んだり、親同士・子ども同士で交流や情報交換をするベビースペースとする。

【整備イメージ】



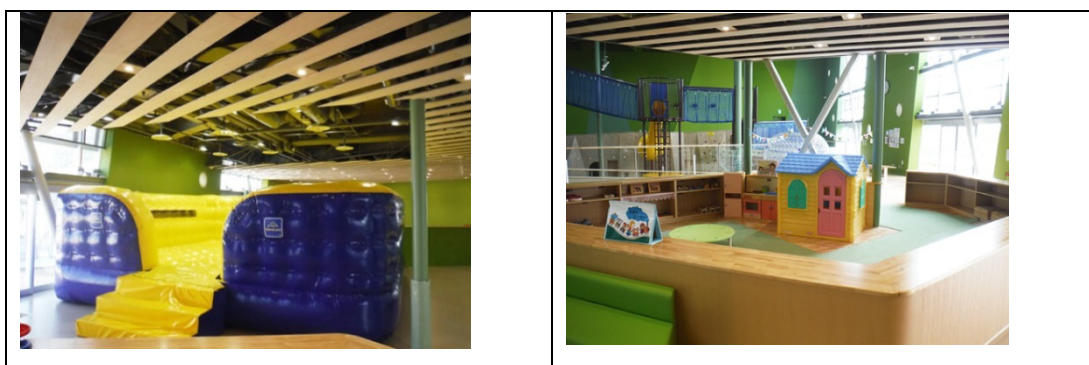
出典：天童市子育て未来館 げんキッズ ホームページ

(2) キッズスペース

3歳以上の子どもとその保護者を利用の中心とし、子どもが安全に天候等に関係なく体を動かして遊ぶことが出来る場を提供し、子どもの健全な成長を促す。また、他の子どもと遊具や玩具を用いて工夫して遊んだり、異年齢の子どもとの交流を通じて社会性の基礎を育む。

3歳以上の子どもを持つ保護者に、安心・安全な遊び場を提供するとともに、同年代の子どもを持つ親同士の交流の場として整備する。

【整備イメージ】



出典：天童市子育て未来館 げんキッズ ホームページ

(3) イベント・交流スペース

子育て支援センターで実施する講座・研修や、リトミック・親子たいそう・ミュージックケアなどの子育てに関するイベント、つどいの広場「笑」などを開催する場として整備するほか、子育てサークルの活動や世代間、地域間交流の場として利用できるスペースとする。

【整備イメージ】



(4) ファミリーサポートセンター

現在、玉穂総合会館横の健康管理センター内にあるファミリーサポートセンターを移転させる。

- ・子ども連れで来所しやすいよう、室内のレイアウトに配慮する。
- ・受付カウンターを設置し、執務室と利用者が入るエリアを分ける。
- ・O Aフロアとする。

(5) その他設備

事務室、子ども用トイレ、授乳スペース、おむつ替え室、給湯室、自動販売機などを設置する。

【整備イメージ】

